

1

子供が目標を理解し、課題に興味をもって取り組んでいたか。

【身に付けさせる資質・能力の明確化・評価規準の設定等】

- ・ 学習指導要領や年間指導計画などを基にしながら、本時の目標及び評価規準を設定する。その際、**クラスの実態に合った目標**となっているかも留意する。なお、**単元を見通した本時の学び**となっているかという視点も大切である。
- ・ 導入時は、子供たちに、本時の目標にせまれるような導入場面を設定すると共に、「**解決したい**」「**〇〇したい**」と思わせるような活動とすることが重要である。



2

子供が自分の考えを表現することができたか。

【主に主体的な学びの視点からの授業改善】

- ・ 本時の**課題が正しく子供たちに伝わっているかどうか**気を配る必要がある。また、つまづいている子供たちへは、自分の考えを表現できるよう、**支援策（手立て）を事前に**考えておくことで、授業中に**きめ細かな対応**が可能となる。
- ・ また、適切な場・時間の設定に配慮することも必要である。



3

子供が友達の発言を受け止め、自分の意見と比べていたか。

【主に対話的な学びの視点からの授業改善】

- ・ 子供たちの**考えを広げられる**ような学習活動となっていることが重要である。場合によっては、学習形態のみならず、グループ学習が円滑に進むよう、学習ボードなどを使用し、「比較する」「分離する」「関連付ける」等の**思考過程を可視化**させながら進めることも大切である。



4

子供が思考・判断・表現する活動を通して「見方・考え方」を働かせていたか

【主に深い学びの視点からの授業改善】

- ・ 授業者が**各教科の特性に応じた「見方・考え方」**を明確にし、授業に臨むことが必要である。本時まで身に付けた知識・技能等を活用し、子供たちが**新たな考えを創造**したり、友達が**納得できるような答えになるよう理由を説明**したりする学習活動を目指すことが大切である。



5

子供が「分かったこと」「やったこと」や「できたこと」など、学びの成果や課題を実感していたか。

【学びの評価・振り返り】

- ・ 子供たちの1時間での変容を評価できるよう、学んだことを振り返り、**言語化**させたり、**評価問題**に取り組ませたりすることが大切である。
- ・ **本時での変容**を見取り（評価し）、**子供自身にも成長を実感**させることで、次時以降の学習活動へつなげていくことも大切である。

